

日々是Oracle APEX

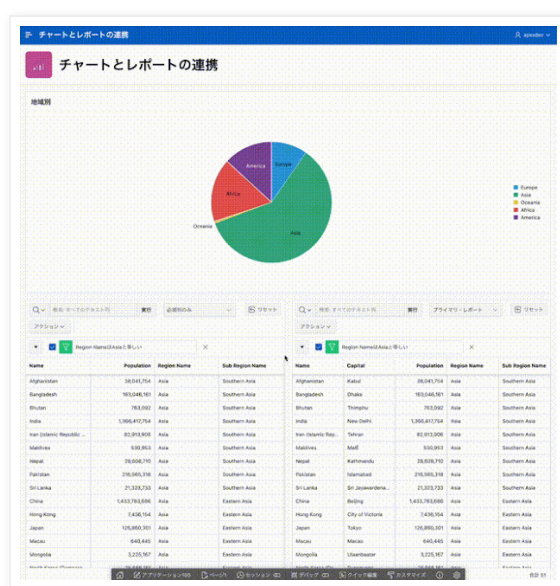
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年2月20日月曜日

チャートとレポートを連携させる(3) - APIの使用

APIを使用することにより、対話グリッドのフィルタ条件を設定します。使用するAPIは [APEX_IG.ADD_FILTER](#) です。

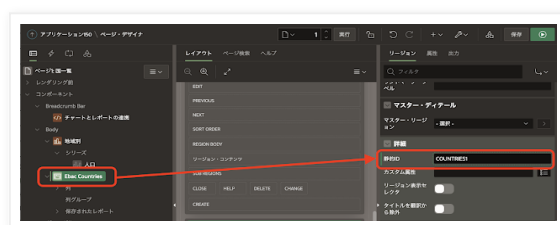
チャートをクリックして、同時に複数の対話グリッドにフィルタ条件を設定します。



一番最初の記事で作成したAPEXアプリケーションを元に、サンプルの実装を進めます。

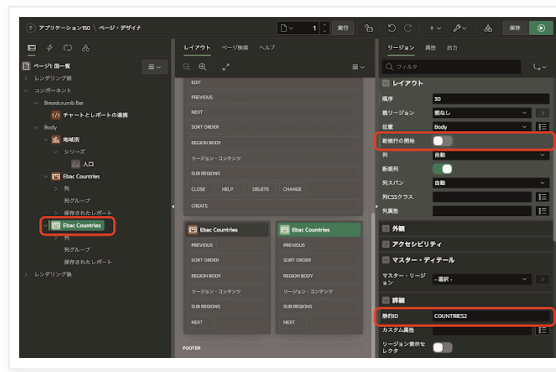
同じページに複数の対話グリッドを配置するため、識別できるように静的IDを設定します。

対話グリッドの詳細の静的IDとして **COUNTRIES1** を指定します。



作成済みの対話グリッドを重複させます。

レイアウトの新規行の開始をOFFにし、対話グリッドが横に並ぶようにします。詳細の静的IDとして **COUNTRIES2** を設定します。



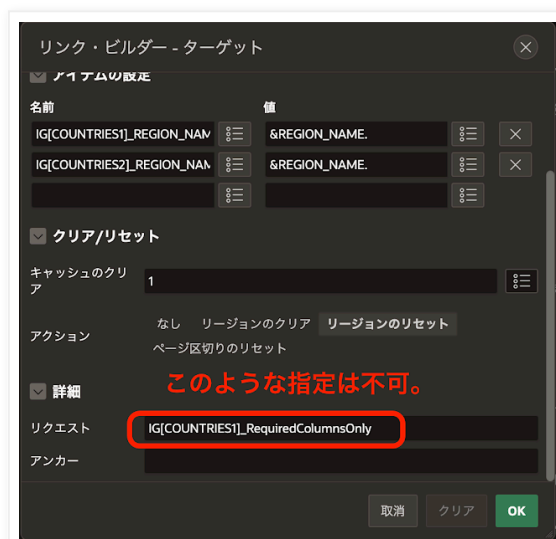
フィルタ条件の設定だけであれば、**リンクにアイテムの設定**を追加することで対応できます。

以下のように対話グリッドの**静的ID**を含め、双方に**値**として**®ION_NAME.**を指定します。

IG[COUNTRIES1]_REGION_NAME
IG[COUNTRIES2]_REGION_NAME



ただし、複数の対話グリッドを対象にフィルタ条件を指定した場合、保存済みレポートの指定はできません。



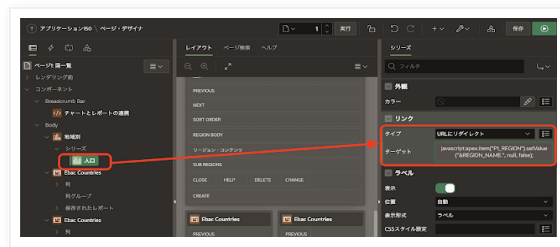
これからAPIによる実装を行います。

チャート上でクリックした地域名を保持するページ・アイテムを作成します。

識別の名前は**P1_REGION**とします。**タイプ**は**非表示**とします。JavaScriptで値を設定するため、**設定の保護された値**は**OFF**にします。対話グリッドに表示されている値にフィルタをかけるため、このページ・アイテムに保存する値は列**REGION_ID**ではなく列**REGION_NAME**の値です。

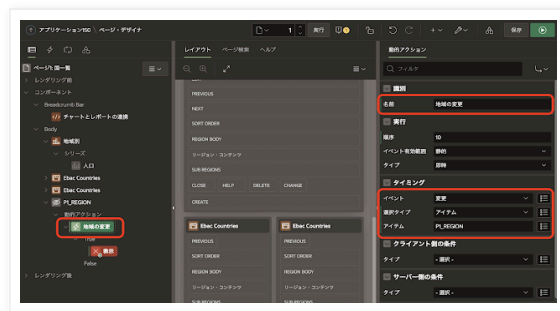
シリーズ人口のリンクの**タイプ**を**URLにリダイレクト**に変更し、**ターゲットのURL**として以下を記述します。選択リストと異なり、表示値は不要なのでnullを指定します。

```
javascript:apex.item("P1_REGION").setValue("&REGION_NAME.", null, false);
```



ページ・アイテム**P1_REGION**に動的アクションを作成します。

作成した動的アクションの識別の名前は**地域の変更**とします。**タイミング**はデフォルトで**イベント**が**変更**、**選択タイプ**は**アイテム**、**アイテム**は**P1_REGION**になります。



TRUEアクションとして**サーバー側のコードを実行**を選択し、**設定のPL/SQLコード**として以下を記述します。APIを呼び出し、それぞれの対話グリッドにフィルタを設定しています。

```
declare
    l_region_id number;
begin
    /* 対話グリッドCOUNTRIES1へのフィルタ設定 */
    -- レポートIDを取得する。
    select region_id into l_region_id
    from apex_application_page_regions
    where application_id = :APP_ID
    and page_id          = :APP_PAGE_ID
    and static_id         = 'COUNTRIES1';
    -- レポート設定をクリアする。
    apex_ig.clear_report(
        p_page_id => :APP_PAGE_ID
        ,p_region_id => l_region_id
```

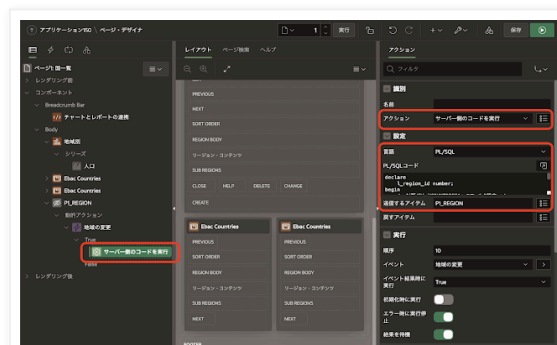
```

        ,p_report_name => 'RequiredColumnsOnly'
    );
-- デフォルトのフィルタを適用する。
apex_ig.add_filter(
    p_page_id => :APP_PAGE_ID
    ,p_region_id => l_region_id
    ,p_filter_value => :P1_REGION
    ,p_column_name => 'REGION_NAME'
    ,p_operator_abbr => 'EQ'
    ,p_report_name => 'RequiredColumnsOnly'
);
/* 対話グリッドCOUNTRIES2へのフィルタ設定 */
-- レポートIDを取得する。
select region_id into l_region_id
from apex_application_page_regions
where application_id = :APP_ID
and page_id          = :APP_PAGE_ID
and static_id        = 'COUNTRIES2';
-- レポート設定をクリアする。2番目の対話グリッドは代替レポートを指定しない。
apex_ig.clear_report(
    p_page_id => :APP_PAGE_ID
    ,p_region_id => l_region_id
    ,p_report_id => null
);
-- デフォルトのフィルタを適用する。
apex_ig.add_filter(
    p_page_id => :APP_PAGE_ID
    ,p_region_id => l_region_id
    ,p_filter_value => :P1_REGION
    ,p_column_name => 'REGION_NAME'
    ,p_operator_abbr => 'EQ'
    ,p_report_id => null
);
end;
```

set-filter-by-api.sql hosted with ❤ by GitHub

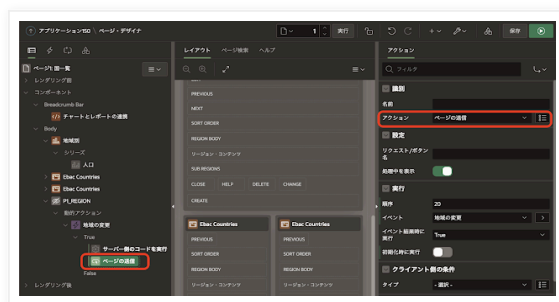
[view raw](#)

送信するアイテムとしてP1_REGIONを指定します。



新規に**TRUEアクション**を作成し、**アクション**として**ページの送信**を選択します。

対話グリッドに設定したフィルタを反映するためには、**ページを再送信する必要があります。**



以上でアプリケーションは完成です。アプリケーションを実行すると、先頭のGIF動画のように動作します。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/link-chart-and-report-api.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 15:21

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.